

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>町内会に加入し町内の会合や行事に参加し、地域の一員として信頼される様に努めています。運営推進会議にも参加して頂き、理解を深めて頂いている。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>月に1度のミーティングや日常の会話の中で理念を確認し実践している。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>地域の会合や行事に参加したり、面会に来られた御家族様にほ～むの出来事や行事の報告をし理解して頂いています。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>畑仕事をしている時近所の方々から声を掛けて頂いたり、犬の散歩の途中に立ち寄って頂いています。近隣の子供達も気軽に立ち寄って下さっています。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会や老人クラブの行事に参加しています。近隣の子供も訪問してくれ、ピアノの演奏会もあり地域の方々との交流も良好です。</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の際、地域の方々との意見交換を行い参考にしています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員全員で自己評価を行っています。外部評価の結果を活かしサービスの質の向上に努めている。</p>		
8	<p>○運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1度の運営推進会議で議題に沿って意見交換を行っています。ほ～むの取り組みや行事報告を行いほ～むに対する意見を聞き、今後のサービス向上の参考にしている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>地域の方々と一緒に消防訓練を行ったり、地域のイベントに参加し、サービスの向上に努めています。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>市町村で開かれる高齢者に関わる講習や研修に参加し、学んだ事を勉強会で報告・理解し支援の参考にしています。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p> <p>市町村で開かれた高齢者虐待防止関連の研修を受けたり、地域の方々が訪問しやすい雰囲気を作りホームを理解して頂けるよう、取り組んでいます。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>文書や口頭で十分な説明を行い理解・納得をして頂いています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>行事に参加した時や日常の会話の中で、意見・不満・苦情が出た時は速やかに対応し運営に反映させている。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>毎月月末にホームの出来事や行事を報告するホーム便りを作成し、目を通して頂いている。面会の際にも都度報告行っている。預かり金の内訳も月末毎に報告している。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。不満や苦情に対しては速やかに対策を検討し回答している。検討策は職員が周知統一した対応が出来るようにしています。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に1回ミーティングを行い、出された意見や提案を反映させるように取り組んでいる。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>状況の変化や要望に対応出来る様にシフトを組み、変化に応じた勤務調整を行っている。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>利用者が安心して支援が受けられるように職員の異動は最小限に抑えています。離職の際は利用者の心のフォローを行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に各種研修会への参加、ミーティング後に勉強会を行っている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	地域の勉強会への参加、行事などを通じて意見交換しサービスの向上に取り組んでいる。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	交流会の実施。ミーティング時や休憩時間など悩みや問題点を話し合い解決している。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	把握するよう努めている。各種研修会や交流会への参加を促し、ミーティング時に職員主催の勉強会を行うなど各自が向上心を持ち業務にあたっている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	面談時や日々の関わりを持つ中で会話の機会を増やし信頼関係を築いていっている。その中で利用者の求め・不安等を受け止め対応出来るよう努めている。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	面談時や、来所された際・電話にてその都度お話しさせて頂いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>25</p> <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>面談時の会話の中から求められている要望の見極め、実現に向けた支援の提供を行っている。</p>		
<p>26</p> <p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>不安のないよう、他の利用者と馴染めるように職員が仲介役となり支援している。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>27</p> <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>日々の会話の中で本人の得意な事や出来る事をして頂き、共に楽しみを教えられている。料理や裁縫、歌など職員が教えてもらうことも出来る。</p>		
<p>28</p> <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ホーム便りで活動の様子を報告するとともに運営推進会議や誕生会などの行事への呼びかけを行い、ホームの運営に参加する機会やご家族も一緒に参加出来る行事の場を作っている。</p>		
<p>29</p> <p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>面会時は近況報告、状態を報告している。ホーム便りの発行により行事の呼びかけを行いご家族と利用者の関係が築きやすいように支援を行っている。</p>		
<p>30</p> <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>友人・知人・親戚など大切にされ、交流している。手紙を出す等の支援を行っている。行事や誕生会の際は連絡を取り気軽に参加・交流が出来るよう努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の日々の会話や様子から関係を把握し職員が仲介役となり良い関係を持てるよう支援している。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	利用者やご家族に十分説明し情報交換を行う事で退去先の支援をし納得して頂いている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や関わりの中で言われた希望に添えるよう努めている。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントシートによる生活歴、好みなどの情報を把握・共有している。月1回のカンファレンスの場で情報交換を行い現状を把握している。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	会話や関わりの中で把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護支援専門員の指導のもと、月に1回全職員参加のカンファレンスを行い、意見交換・介護計画を作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	実施期間を明示し状態変化に応じ見直し・対応をおこなっている。月に1回全職員でのケアプランの評価・見直しを行っている。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別の行動表を作成し状態・報告を行い、介護計画の見直し等を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	希望を尊重し可能な限り買い物等への対応を行っている。行事の際には希望を聞きながら計画・実施している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の子供達との交流、文化祭の参加、消防による避難訓練を定期的に行っている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他の事業所との連携を取っている。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議を2ヶ月に1度開催し、地域包括支援センターとの協働をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>43 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>一人一人の症状にあった協力病院の担当の医師に相談の行っている。24時間の対応も出来ている。</p>		
<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>44 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>主治医に相談・助言を頂き対応している。</p>		
<p>○看護職との協働</p> <p>45 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>看護師が定期的に巡回し利用者の様子観察をし健康管理している。利用者も看護師と親しくなり利用者も気軽に相談され、安心している。</p>		
<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>46 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>主治医に日頃より相談、情報交換を密に行い協力していけるようにしている。</p>		
<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>47 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>協力機関、かかりつけ医、ご家族等と日々の様子を都度報告し、必要に応じ連絡を取り合い体勢を整えている。</p>		
<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>48 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>かかりつけ医に相談し今後の変化に備えた対応を行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>アセスメントシートを用い、生活歴、大切な経験・出来事通じ、ご本人が落ち着かれるよう配慮した対応を行っている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人を尊重し一人一人にあった声掛けを行っている。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者と職員がゆっくり話せる機会を作り、希望・自己決定を自然に促せるような環境作りに努めている。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>現在までの生活歴を理解し、日々の会話の中から希望をくみ取り個人のペースを大切にしている。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>マニキュアを塗る、髪型を変える等支援しています。化粧品も御自分で選ばれている。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>塩分制限はあるが、毎食一緒に調理・片付けをしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	飲食については体調管理に基づき対応している。タバコは希望、体調に応じて喫煙して頂いている。望む事は出来る限り対応している。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人一人にあった排泄が出来るよう支援している。失敗があった場合不安を与えないよう声掛けを行いプライバシーに配慮し対応している。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	要望に添えるよう対応している。一人一人にあった温度、介助をし入浴して頂いている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	睡眠パターン、その日の行動状況を把握し対応している。日中に睡眠が必要な方はその時の状態に応じて対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	家事、炊事など手伝って頂いている。体操・レクを取り入れ天気の良い日は散歩している。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理はホームが行い必要に応じて対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○日常的な外出支援</p> <p>61 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>天気の良い日には散歩し、買い物を希望される方がいれば一緒に出掛けている。</p>		
<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>62 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>年に何度かは日帰り温泉、1泊旅行に行っている。季節毎のイベントに参加し、要望に添えるよう努めている。</p>		
<p>○電話や手紙の支援</p> <p>63 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>	<p>電話をかけたり、手紙など必要に応じて支援している。</p>		
<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>64 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>気軽に訪問して頂けるよう良い雰囲気作りを心掛けている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援			
<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>65 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束について全職員が認識を行っている。定期的に勉強会も開き確認もしている。</p>		
<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>66 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日中は鍵を掛けずにご家族や近所の方々にも気軽に来て頂けるようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>共有スペースにおられる時は見守り出来る位置にいる。所在を常に把握している。</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>内服薬・消毒液などは保管、管理している。</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>年に2回防災訓練を行っている。主治医は24時間対応、一人一人の病歴も把握し対処出来るようにしている。</p>		
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>緊急時のマニュアルに応じて対応している。定期的に勉強会をしている。</p>		
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>年2回防災訓練を行っている。近くの交番、町内会の方にもホームの事を知って頂き協力して頂いている。</p>		
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>利用者の状態をご家族に連絡し健康状態、日常の様子などの情報の共有している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気づいた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている。	毎朝のバイタルチェックと、必要時に応じたバイタルチェックを行い、変化が見られる 時には医師、看護師に連絡し指示を仰いでいる。毎日の申し送りと行動表への記録 もを行っている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている。	服薬量を守り誤飲のないように手渡し、内服確認している。体調の変化に注意し、医 師・看護師と連絡を取りながら対応している。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけに取り組んでいる。	野菜は熱を通しつつも繊維を取って頂き、毎日に体操やお散歩、腹部等のマッサ ージを行っている。場合により便秘薬も使用している。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じ た支援をしている。	毎食後自発的に行える方には行って頂いている。声掛けや支援する事により全員の 清潔保持に努めている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態 や力、習慣に応じた支援をしている。	カロリー計算された食事を取って頂き、状態によってはお粥や栄養補助食品(エン シュア)にて対応している。又、摂取量や水分量もチェックしている。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めが あり、実行している(インフルエンザ、疥癬、 肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがい・手洗いを徹底し、共有する物は消毒を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎食後の料理用具の消毒、新鮮な食材を毎日配達してもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	夏には花を飾り明るい玄関まわりを作り、冬には見通しが良く安全に歩けるよう除雪を行っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に合った工作を利用者と一緒に作り飾っている。写真を見て思い出話しが出来る空間がある。トイレ・水回りを清潔に保っている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	好きな場所で過ごせるよう、リビング・食堂を自由に利用出来るようにしている。晴れた日には見守りにてテラスも使用している。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	なじみの物を置き、落ち着き、生活感を出している。ご家族の希望も取り入れ、置物や額縁を用意している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、よう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空気清浄機を使用している。掃除の際には換気を行っている。温度・湿度計を使用し調節をしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すり、滑り止めを使用している。浴槽にもゴムマット、手すりを設置している。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>声掛け、見守りにて掃除・食事の用意に参加して頂いている。混乱する物は置かずに、持ち物にも記名している。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>晴れた日にはテラスで体操やティータイムを取り、畑には野菜やお花を植え、水まき等も行っている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者調、 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない <p>散歩時、食事等の会話からとらえている(体希望する外出先など)。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ●①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない <p>一緒にコーヒーを飲んだり、テレビの鑑賞。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者る。 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない <p>その日の体調に合わせて行動して頂いていプライバシーも確保出来ている。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者レク、 ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない <p>季節・天候に合わせた外出、ホーム内での個人の趣味などの支援で生き生きとした姿見られている。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者へ ●②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない <p>行きたい場所を聞き、温泉・花見・買い物等外出している。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者対応 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない <p>各週の訪問診療、定期的な病院受診にてし安心して生活して頂いている。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者めて ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない <p>日常会話の中で要望に応えられるよう努めている。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての家族にて ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない <p>ホーム来訪の際にお話を伺ったり、電話伺ったり、不安等は早急に改善するよう努めている。</p>

V. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ毎日のように供連 ●②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない 	犬を散歩の途中の来られたり、近所の子も遊びに来てくれている。
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ①大いに増えているして ●②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない 	地域の会合や行事に参加する事で理解頂いている。
98	職員は、生き生きと働いている	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての職員がし、 ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない 	職員は利用者を家族同様に思い、支援利用者の立場に立ち業務にあたっている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者がうに ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 	日々の会話の中で、利用者から家族のように生活が出来て楽しいとの声が聞かれて
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない 	家庭的な雰囲気の中で満足して頂いている

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

- ・利用者が生きがいを持てる環境作り。
- ・家庭的な雰囲気です日常生活をサポートする。
- ・地域との交流やイベントへの参加などで気分転換を図る。